

月刊 AEHA通信 2022 年7月号

◆◆◆ 今月の主な内容 ◆◆◆

- ◇トピックス : 新理事長就任のご挨拶他
- ◇主な委員会活動等 : 第2回省エネルギー対策委員会他
- ◇協会インフォメーション : 役員名簿(6月23日付)他
- ◇定点観測データ : 家電リサイクル法対象4品目引取実績他
- ◇溜池ボイス : 味噌煮込みうどん



■□■ トピックス ■□■

一般財団法人 家電製品協会 理事長 沖津 雅浩
(シャープ株式会社 代表取締役 副社長執行役員)



一般財団法人家電製品協会の理事長就任にあたり、ご挨拶を申し上げます。

2020年初頭より始まった新型コロナウイルス感染症は、昨年も猛威が衰えることなく、私達の生活にも、仕事や家庭で多大な負担をかけてきましたが、本年に入り人流の規制緩和の動きも始まり、6月には限定付きとは言え外国人観光客の受け入れも再開されました。本格的な経済再建に向けて、いよいよ反転攻勢に出る時期かと思われまます。

一方で、この2年半の間に、テレワークをはじめ家庭を中心とした新たな働き方、暮らし方も定着し、自宅で過ごす時間が増えました。家電製品への大きな期待を感じると共に、より安心で、より快適、より便利な生活を支えるという当協会の使命を、より一層重く受け止めている次第でございます。

当協会は、この新しい日常において、身近な家電製品にもとめられる新たな機能や性能、サービスの創出、そしてそれらの課題の解決に向け、より一層取り組んで参ります。今後も家電業界の発展に全力を挙げて貢献してまいる所存ですので、引き続き、皆さまのご支援、ご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

皆さま方のますますのご多幸とご健勝を心より祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

◆第19回評議員会の開催（6月15日）

5月30日(月)の第20回理事会での審議を経て、6月15日(水)に第19回評議員会を開催しました。冒頭、互選により羽鳥評議員が議長に選出され、議事進行を務めていただきました。来賓の経済産業省情報産業課村上課長補佐にご挨拶をいただいた後、伊藤専務理事より以下の議案について説明し、事業報告及び決算報告並びに役員を選任について決議されました。

●議案審議

- 第1号議案 2021年度事業報告及び決算報告の承認について
- 第2号議案 指定法人 2021年度事業報告書及び収支決算書の提出について
- 第3号議案 役員(理事・監事)の選任について
- 報告事項1 公益目的支出計画実施報告書等の提出について
- 報告事項2 今後の行事予定について



羽鳥議長(左)、伊藤専務理事



来賓挨拶:経済産業省村上課長補佐

◆理事会書面決議（6月16日）

6月15日の第19回評議員会での決議を受け、理事会書面審議にて、以下の議案について6月16日付けで決議され、代表理事等が選定されました。

1. 第1号議案:「代表理事」等の選定について
 - ①沖津雅浩理事(シャープ株式会社 代表取締役副社長^(※))を代表理事に選定し、理事長とする。
(※)2022年6月23日就任
 - ②喜多村和洋理事(シャープ株式会社 執行役員)を代表理事に選定し、副理事長とする。
 - ③糸川滋理事(ソニー株式会社 執行役員)を代表理事に選定し、副理事長とする。
 - ④伊藤章理事(一般財団法人家電製品協会)を代表理事に選定し、専務理事とする。
 - ⑤定款第34条第3項に定める「理事会が予め決定した順序」を、『第一順位 喜多村和洋代表理事副理事長、第二順位 糸川滋代表理事副理事長』とする。
2. 第2号議案:「事務局長」の任命について
伊藤章理事(一般財団法人家電製品協会)を事務局長に任命する。

◆家電製品各種資格認定試験のお知らせ

来る2022年9月に開催予定の第43回資格認定試験についてご案内いたします。7月20日(水)から受験申請受付を開始いたしますので、受験をご検討いただいている皆さまにおかれましては、ご希望の受験日時と試験会場の確保のため、受付期間中のできるだけ早い時期に申請されることをお勧めいたします。

1. 受験申請受付期間: 2022年7月20日(水)～8月10日(水)
2. 試験期間: 2022年9月1日(木)～9月14日(水)
3. 試験会場: 全国約300ヶ所のCBT専用試験会場



4. 試験科目

① 家電製品アドバイザーの試験科目

「AV情報家電」「生活家電」の両資格区分ともに「商品知識と取扱い」と「CSと関連法規」

② 家電製品エンジニアの試験科目

「AV情報家電」「生活家電」の両資格区分ともに「基礎技術」と「応用技術」

③ スマートマスターの試験科目

「スマートハウスの基礎」と「スマートハウスを支える機器・技術の基礎」



DX時代のスタンダードな試験スタイル
CBT方式試験 ● 受験日時と受験会場を自分で選べる
● 新型コロナウイルス感染防止にも配慮
Computer Based Testing ホームページにてCBT方式試験の疑似体験ができます！



認定センターのホームページに概要などを掲載しています。

- ・試験実施概要について <https://www.aeha.or.jp/nintei-center/procedure/examination/>
- ・試験リーフレット https://www.aeha.or.jp/nintei-center/uploads/43th_reaf.pdf

注) 新型コロナ感染症の拡大状況およびこれに伴う国・自治体による各種指示・施策によっては、上記予定を変更する場合がありますので予めご了承ください。

◆2021年度「家電リサイクル年次報告書」を発行

家電リサイクルにおける製造業者等及び弊協会の取組みを「家電リサイクル年次報告書 2021年度版」としてまとめました。

本報告書では、家電リサイクル法制度・リサイクル実績・製造業者等の取組みとリサイクル技術および施行後21年の成果等につきまして、データをもとに分かりやすくまとめておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

また、本報告書は協会Webサイトに掲載しております。

<https://www.aeha-kadenrecycle.com/effort/#report>



◆2021年度「家電製品PLセンター年次報告書」を発行

2021年度の家電製品PLセンターにおける、相談等受付状況や活動状況をまとめた「年次報告書」を発行し、家電製品PLセンターホームページに掲載しました。

PDFのダウンロード

https://www.aeha.or.jp/plc/houkoku/pdf/nenji_2021.pdf



■□■主な委員会活動等■□■

<家電業務部関連>

◆第2回 省エネルギー対策委員会(6月30日)

2022年度第2回の省エネルギー対策委員会を開催いたしました。
主な議題は以下のとおりです。

1. 総合資源エネルギー調査会・省エネルギー・新エネルギー分科会・省エネルギー小委員会及び傘下のワーキンググループにおける審議内容の確認
2. ホームページ「省エネ家電 de スマートライフ」アクセスレポートの報告
3. 第19回おすすめBOOK2022 編集会議

○おすすめBOOK編集会議(第18~19回)

「スマートライフおすすめBOOK2022 年度版」は、ページめくり、目次表示、リンク機能活用等創意工夫をこらした魅力ある初の電子BOOK版として、下記ホームページに掲載いたしました。

URL: https://shouene-kaden2.net/recommend_book/



◆第2回 UD技術委員会(6月24日)

本委員会では、UD関連のJIS、ISO原案作成委員会に委員を派遣し、業界意見の反映を図っています。
また、UD関連に取り組む関係機関との意見交換を通じて政策の動向把握と課題発掘に努めています。

1. 2022年度活動計画、日程、運営体制について
2. (家製協)ICT連携配慮指針の有識者へのヒアリング結果反映と評価アプリ作成の為の光/バイブレーション機能について検討
3. 配慮マップ見直しによる中長期的課題の検討

○第1回 製品安全委員会 技術法規WG(6月8日)

2022年度第1回の製品安全委員会 技術法規WGを開催いたしました。
主な議題は以下のとおりです。

1. 2021年度産業構造審議会製品安全小委員会 & 消費経済審議会製品安全部会報告
2. IoT製品安全ガイドライン普及等に関する調査フィードバック
3. 電気用品安全法の型式区分合理化に向けた継続的な要望について

◆第2回 アフターサービス委員会(6月21日)

本委員会では、長期使用製品の安全点検の効果的、効率的な仕組みや、アフターサービスに係る行政からの指導事項に対する対応を行っています。

1. エアコン早期点検活動の推進状況について
2. 安全点検チェックリストページのスマホ対応について
3. 消費生活センター向けQ&A「修理関連」ページの改訂について

◆第3回 流通EDI標準化推進委員会(6月 15 日)

本委員会では、家製協 EDI 標準化仕様の更新事案に関する調査研究をおこなっています。
主な議題は以下のとおりです。

1. 啓発・PR関連及び商品情報検討WG活動報告
2. ISDN 終了に伴う調査結果のとりまとめについて
3. 流通企業動向について

<環境部関連>

◆第 54 回 製品アセスメント委員会 (6月 17 日)

主な議題は以下のとおりです。

1. 前回議事要旨(案)確認
2. 2022 年度 事業計画推進状況について

○2022 年度 第 3 回 家電製品素材構成分析WG (6月 22 日)

主な議題は以下のとおりです。

1. 前回議事要旨(案)確認
2. 活動計画の進捗状況について

◆第1回 2022 年度家電リサイクル委員会 (6月 21 日)

主な議題は以下のとおりです。

1. 環境担当役員会議書面審議結果について
2. 環境担当役員会議委員交代について
3. 第3回目の家電リサイクル法見直し審議会について
4. 環境省検討会および経産省検討会について
5. ワーキンググループの活動報告
 - (1)SY WG・システムインフラ対策WG
 - (2)年次報告書作成WG
 - (3)普及広報WG
6. 指定法人業務センター活動報告
7. 事業協力室活動報告
8. RKCからの報告事項について
9. 2021 年度再商品化等実績について

○第3回 2022 年度普及広報WG(6月 23 日)

主な議題は以下のとおりです。

1. 「3秒でえらべる家電の捨て方」豆知識の新コンテンツ案について
2. 「3秒でえらべる家電の捨て方」豆知識の新コンテンツ制作スケジュールについて
3. 「3秒でえらべる家電の捨て方」豆知識の委託先制作コンテンツテーマについて
4. 「3秒でえらべる家電の捨て方」SEO対策5月度報告
5. 「3秒でえらべる家電の捨て方・豆知識」の5月度アクセス件数について
6. 家電リサイクル常設展示の開設について
7. スケジュール・その他



<事業協力室>

◆2023 年度公募について

2023 年度公募について、主務省、関連団体への事前通知後、例年通り、7月1日(金)から公募案内を協会 WEB サイトに掲載し、2023 年度の公募を開始しました。公募期間は、7月1日(金)～8月31日(水)の2か月を予定しています。

<指定法人業務センター>

◆普及啓発活動（4号業務）について

事業者排出の家庭用エアコン回収率向上に向けた啓発活動として、6月14日(水)日本賃貸住宅管理協会(日管協)様の令和4年度会員総会にて、ブース出展による普及広報活動を実施しました。

総会参加者は300名(賃貸管理事業者、責任者、ご担当者)を超え、配布資料(オリジナルクリアファイル、エアコン回収活動説明チラシ、やってはいけない家電の捨て方冊子)は約200部となりました。



<認定センター関連>

◆次回試験 試験問題検討ワーキング

1. 家電製品アドバイザー、同エンジニアの試験問題(ドキュメンテーション部会)
試験科目毎に随時WGを実施し、2022年9月(第43回)試験問題の審議を行いました。
2. スマートマスターの試験問題(スマートマスター推進委員会)
第2回問題審議(6月16日)を行いました。

◆第134回 認定制度委員会（6月8日）

主な報告、審議事項は以下のとおりです。

1. 2021年度事業結果に関する報告
2. 2022年9月(第43回)資格認定試験の準備状況について
3. 資格更新状況について
4. 2022年度事業計画について

◆6月度 情報発信・教育部会（6月20日）

今後の試験問題作成や参考書作成の活動スケジュールならびに、今後の情報収集ポイントなどについて審議しました。

1. 近況報告、家電製品アドバイザー、同エンジニア参考書 対応日程
2. 6月情報 収集情報
3. マイスタディ講座「ここが要点」6月原稿他



<管理部>

◆家電ハンドブック編集専門委員会（6月10日・23日）

2022年版「家電産業ハンドブック」の第2回(6/10)、第3回(6/23)編集専門委員会を開催いたしました。第2回委員会では本年度の原稿ストーリーの方向性の確認、第3回ではその方向に基づき、実際に執筆した原稿一次案を各執筆委員が読み上げ、内容について審議しました。

当ハンドブックは9月末の発刊を予定し、賛助会員のみへの配布としています。また、その抜粋版(統計資料編の官庁発表関連データを主に掲載)は、協会Webサイトの会員専用ページにて掲載いたします。



<家電製品 PL センター関連>

◆第55回 家電製品PLセンター運営協議会（6月2日）

学識者、消費者問題に精通した有識者、流通関係者、行政関係者、家電製品関連技術の専門知識を有する者で組織する「家電製品PLセンター運営協議会」を開催しました。

主な議題は下記のとおりです。

1. 会長代行者の選任について
2. 2021年度事業報告(案)及び決算報告(案)
3. 2021年度活動報告
4. 2022年度事業計画及び収支予算について



■□■協会インフォメーション■□■

◆役員名簿（2022年6月23日現在）

○	理事長	沖津 雅浩	シャープ株式会社	代表取締役 副社長執行役員
○	副理事長	喜多村 和洋	シャープ株式会社	執行役員
	副理事長	糸川 滋	ソニー株式会社	執行役員
	専務理事	伊藤 章	一般財団法人家電製品協会	専務理事
	理事	小林 伸行	東芝ライフスタイル株式会社	取締役社長
	理事	大隅 英貴	日立グローバルライフソリューションズ株式会社	取締役社長
	理事	宮地 晋治	パナソニック株式会社	執行役員 コンシューマー マーケティングジャパン本部長
	理事	鈴木 聡	三菱電機株式会社	常務執行役
○	理事	林 和喜	株式会社JVCケンウッド	執行役員
	理事	澤井 克行	ダイキン工業株式会社	常務執行役員
	理事	小湊田 恒直	株式会社富士通ゼネラル	取締役 経営執行役副社長
	理事	西崎 太真	三菱重工業サーマルシステムズ株式会社	取締役
	監事	猪股 匡順	一般社団法人日本ガス石油機器工業会	専務理事
	監事	東出 浩一	公益社団法人 全国家庭電気製品公正取引協議会	専務理事

○新任

◆人事異動

日付	氏名	新	旧
2022年6月16日	平松 栄里奈	認定センター	三菱電機株式会社
2022年6月30日	片山 泰三	退職	認定センター
2022年6月30日	鐵田 浩司	三菱電機株式会社	認定センター

◆今後の行事予定

年	月日	時間	行事	主な議題等	場所
2022	7月28日(木)	16:00~17:00	第40回運営委員会	部門別活動報告	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議
	11月28日(月)	16:00~17:00	第41回運営委員会	部門別活動報告	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議
2023	2月20日(月)	15:00~17:00	第42回運営委員会	2023年度 事業計画・収支予算計画 部門別活動報告	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議
	3月 3日(金)	15:00~17:00	第21回理事会	2023年度 事業計画・収支予算等	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議
	3月15日(水)	15:00~16:30	第20回評議員会	報告事項 (2023年度事業計画等)	家製協 第1・2会議室 & インターネット会議

■□■ 定点観測データ ■□

◆家電リサイクル法対象4品目引取実績（6月度）

2022年6月度の4品目の引取実績は、以下のとおりです。

(台数:千台)

品目	当月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	517	100%	1,166	105%
2.テレビ計	295	93%	892	96%
① ブラウン管式	58	80%	176	81%
② 液晶式・プラズマ式	238	97%	716	101%
3.冷蔵庫・冷凍庫	308	97%	879	100%
4.洗濯機・衣類乾燥機	307	85%	1,006	94%
合計	1,428	99%	3,944	99%



(うち指定法人)

(台数:千台)

品目	当月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	4	86%	9	92%
2.テレビ計	19	87%	57	90%
① ブラウン管式	5	82%	16	83%
② 液晶式・プラズマ式	13	89%	41	93%
3.冷蔵庫・冷凍庫	22	85%	63	87%
4.洗濯機・衣類乾燥機	7	85%	23	90%
合計	52	86%	152	89%

◆家電製品PLセンター相談等受付件数実績（6月）

2022年6月度の相談受付件数は、168件(累計435件)です。

詳細は、家電製品PLセンターホームページの月次インフォメーションを参照願います。

<https://www.aeha.or.jp/plc/houkoku/>

◆家電製品国内出荷額の月別・年度別推移データを更新

2022年4月度実績と年間推移を、協会ホームページに掲載しました。

<https://www.aeha.or.jp/about/pdf/shukkasui202204.pdf>

■□■ 溜池ボイス ■□■

◆味噌煮込みうどん

東京暮らしも早や5年。今ではすっかり「都民」となり、関東の濃い味にも慣れました。30年以上も前、初めて浅草で食べた蕎麦の、丼一杯に満ち溢れる黒い液体への衝撃は今でも忘れませんが、最近では東京でも「〇亀製麺」など、丼の底が見える出汁のうどんもありますし、食文化もひと昔前と比べれば東西の差が少なくなったと思います。



京都一円を指す近畿に対し、関東は一般に味が濃いとされます。一説によると、北条氏討伐後にその地に移った家康が、それまで利根川の支流が縦横無尽に走り、頻繁に河川が氾濫する「人の住めるところではない」関東南部を治水するため、地方から集めた人夫に力をつけさせようと、わざと濃い味で沢山の飯を食べさせたのだと言われていますが、名古屋の「味噌煮込みうどん」の例のように、元々尾張一円が味付の濃い食文化だったため、それが三河の家康によって江戸に伝わったのだと思います。

それにまつわる話があります。頃は永禄、他の大名に先駆けて上洛を果たした信長は、15代将軍足利義昭を京より追放しますが、その時捕えた将軍家料理番に「将軍に作った美味なる料理を食べてみたい」と命じました。ところが、一口食べると信長は憤怒にあまり料理番を斬り捨てようとした。すると料理番は「もう一度作る。それは必ず美味しい」と断言し、かくして翌日、たいそう満足した信長は料理番を解き放してやりました。ただ、これには後日談があって、仲間から「どうやったんだ」と訊かれた料理番は、「簡単さ。塩と醤油をしこたま放り込んでやったのさ」と、笑いながら話したそうです。

天下布武と言っても、元は地方豪族の成り上り大名。遠く清和源氏の血を継ぐ「土岐氏」や「斯波氏」のような、やんごとなき一族ではありません。「平蜘蛛」や「蘭奢待」は好んでも、京料理の雅(みやび)な味は苦手そうですね。

